# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

## <教育・校務利用> ② 教員の利用促進に対する事例

#### 教員向け研修会の実施

◆ 目的

教員自身が生成AIを適切に理解し、校務に活用するための基礎的な技術と心がまえを身につける。

#### ◆ 内容

全4回実施した。情報科教員による研修会だけでなく、AIエンジニアや弁護士よる研修おこなうことで生成AIにおける社会の動向を具体的に提供していただいた。

## 情報科教員による日常的な支援

### ◆ 内容

実際に生成AIを校務活用しようとしている先生に対し、情報科教員が生成AIの使い方やプロンプトの書き方を日常的にサポートした。先生たちの「使ってみよう」を促進した。



生成AIガイドライン研修(10.23)

講師:情報科教員

実施形態:職員会議後 講義25分

研修内容:生成AIの仕組み

校内ガイドライン解説

https://youtu.be/e418mRNNMhY



教員のためのChatGPT講座(12.14)

講 師:マイクロソフト(株)

畠山 大有 氏

実施形態:講義60分+実技30分

研修内容:生成AIの活用例

生成AIと社会の現実

https://youtube.com/live/eZFbD1uqDE0



生成AIの使い方研修(12.04)

講 師:地元AIエンジニア 実施形態:講義60分+実技30分

希望者(17人参加)

研修内容:生成AIの基本

プロンプト作成の考え方



教育現場での著作権と生成AI(2.22)

講師:明倫国際法律事務所

弁護士・弁理士 田中 雅敏 氏

実施形態:講義60分

研修内容:生成AIと著作権



資料

## <教育・校務利用> ② 教員の利用促進に対する事例

牛成AI教員向けwebサイト

- ▶ 目的
  - 研修資料や校内活用事例の共有と事例を収集する。
- 内容

Googleサイトで構築

- ▶ 活用事例報告フォーム
- ▶ 校内活用事例
- ▶ 研修会資料 など

#### 教員の利用促進に対する事例に対する成果と課題

教員研修前後での生成AIの利用状況の変化(回答数33件複数回答可)

	教員研修前
使用していない	22 (66%)
私的に利用した	9 (27%)
校務で利用した	3 ( 9%)
授業で利用した	1 ( 3%)



	教員研修後
	11 (33%)
	18 (54%)
	11 (33%)
,	4 (12%)

- ▶ 研修を通じて生成AIについて理解を深めるとともに「使ってみよう| とする教員が増えた。生成AIは、普及が始まったばかりの新しい技術 であり、教員も十分な研修の機会が必要である。
- 授業での活用は専門学科情報科の教員中心で行った。共通教科の先生 方には技術的ハードルがまだ高い。校務利用を促進し、先生方自身が 自信をもって生成AIを活用できるようにすることが必要である。

